

. 実施状況

1. 学校数・近公修委・実施状況報告回答校数

- ・調査協力校からは、例年どおりの回答を得た。特に、大阪、京都、奈良、和歌山は100%である。
- ・府県内全校の実施状況資料としての意味は極めて大きい。

府県名	対象校	回答校	回答率
大阪府	334	334	100%
兵庫県	277	210	76%
京都府	99	99	100%
奈良県	108	108	100%
滋賀県	99	89	90%
和歌山県	137	137	100%
合 計	1,054	977	90%

2-1. 旅行実施時期（月別）

- ・ 5月 6月 4月の順である。この3ヶ月の実施校数は865校で、88.5%を占めている。
- ・府県別の特徴として、和歌山県は10月実施率28.5%、京都府・滋賀県は2月実施率15%を超えている。

府県 実施月	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合 計		
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	
4月	2	0.6	45	21.4	8	8.1	9	8.3	49	55.1	2	1.5	115	11.8	
5月	180	53.9	144	68.6	65	65.7	80	74.1	9	10.1	89	65.0	567	58.0	
6月	135	40.4	20	9.5	2	2.0	4	3.7	16	18.0	6	4.4	183	18.7	
7月	2	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.2	
9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.7	1	0.1
10月	-	-	1	0.5	1	1.0	1	0.9	-	-	39	28.5	42	4.3	
11月	-	-	-	-	2	2.0	-	-	1	1.1	-	-	3	0.3	
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1月	1	0.3	-	-	1	1.0	-	-	-	-	-	-	2	0.2	
2月	12	3.6	-	-	16	16.2	10	9.3	14	15.7	-	-	52	5.3	
3月	-	-	-	-	4	4.0	4	3.7	-	-	-	-	8	0.8	
無記入	2	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.2	
合 計	334	100	210	100	99	100	108	100	89	100	137	100	977	100	

2-2. 旅行実施時期（月別・方面別） --月別の割合-- （単位：校）

- ・関東方面の内、約70%の学校が5月に集中
- ・沖縄方面の内、約60%の学校が5月に集中
- ・40校程度の学校が、信州周辺において、スキー体験を行っている。（2月中心）

府県 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
北海道	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
関東・富士	38	299	31	1	-	-	40	2	-	-	6	5	422
信州・北陸	14	60	30	-	-	-	-	-	-	2	36	2	144
中国・四国	2	10	14	-	-	-	-	-	-	-	2	-	28
九州	50	119	72	1	-	1	2	1	-	-	6	1	253
沖縄	10	70	35	-	-	-	-	-	-	-	2	-	117
海外	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
その他の方面	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
合 計	115	567	183	2	-	1	42	3	-	2	52	8	975

3. 実施方面

- ・関東が424校で、43.4%を占めている。特に和歌山県は、ほとんどが関東方面である。
- ・沖縄が1府4県で117校（前年比146%）と急激な増加傾向にあり、今後も急速に増加すると推察される。
- ・九州、信州が減少気味である。さらに、中国四国方面の減少率は大きい。
- ・海外は1校で、シンガポール方面（和歌山県）である。

府県 方面	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合 計		前年 比
	校数	構成 比	校数	構成 比	校数	構成 比	校数	構成 比	校数	構成 比	校数	構成 比	校数	構成 比	
北海道	-		-		-		1	0.9	-		2	1.5	3	0.3%	75%
関東・富士	67	20.1	90	42.9	58	58.6	42	38.9	43	48.3	124	90.5	424	43.4%	97%
信州・北陸	88	26.3	14	6.7	29	29.3	12	11.1	1	1.1	-		144	14.7%	91%
中国・四国	22	6.6	2	1.0	-		-		4	4.5	-		28	2.9%	67%
九州	96	28.7	76	36.2	12	12.1	21	19.4	40	44.9	8	5.8	253	25.9%	91%
沖縄	57	17.1	27	12.9	-		31	28.7	1	1.1	1	0.7	117	12.0%	146%
海外(シンガ ポール)	-		-		-		-		-		2	1.5	2	0.2%	100%
その他の方 面	4	1.2	1	0.5	-		1	0.9	-		-		6	0.6%	-
合 計 (回答数)	334	100	210	100	99	100	108	100	89	100	137	100	977	100%	-

4. 修学旅行費用（生徒1人当たり：円）

- ・班別、体験学習費用・旅行資料代を含む旅行費総額である。
- ・班別行動の入拝観料の違いや、体験学習など、重点のおき方により、相当経費の差異がある。

府県名	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計/平均
(回答校)	327	208	99	107	89	137	967
最高額	77,000	95,073	89,000	100,000	86,066	96,600	
最低額	13,547	41,295	35,000	38,000	34,650	35,000	
平均額	52,566	56,802	58,353	61,882	60,460	58,789	56,709

5. 方面別修学旅行費用（生徒1人当たり：円）

- ・費用の多い順に、国内では 北海道 沖縄 関東・富士 九州 信州・北陸 中国・四国の順となっている。
- ・一口に修学旅行といっても、遠近・交通機関だけでなく実施内容や、行き先の観光立地的要素（宿泊地、バス利用度など）にも関わり、経費にも、相当な差異が出てくる。
- ・方面が同じでも、市町村によって大きな開きがある県もある。（EX.和歌山県の場合、関東富士方面では、平均値58,534円だが、和歌山市50,011円、郡部60,374円である。）
- ・次頁の表（宿泊地利用状況）では、同方面でも府県によって、利用宿泊地に大きな違いがみられる。

	北海道	関東・富士	信州・北陸	中国・四国	九州	沖縄	海外	その他
大阪府	-	55,763	42,509	41,954	56,863	62,623	-	-
兵庫県	-	58,829	49,099	53,000	53,941	60,202	-	55,844
京都府	-	64,381	52,283	-	55,522	-	-	-
奈良県	87,276	63,261	49,743	-	61,870	67,511	-	-
滋賀県	-	61,119	34,650	54,293	61,030	59,827	-	-
和歌山県	81,975	58,534	-	-	55,717	63,141	90,800	-
平均額	83,742	59,427	45,666	44,506	56,960	63,340	90,800	55,844

6. 宿泊地利用状況（数字は延べ泊数）

地区	コード	宿泊地	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	和歌山県	滋賀県	近公修委計	構成比
関東	1	東京都内	14	82	103	43	148	44	434	50%
	2	浦安・舞浜	18	26	8	18	23	6	99	11%
	3	幕張・千葉	37	19	1	8	44	14	123	14%
	4	富士・河口湖	42	34	5	7	29	11	128	15%
	5	横浜	4	15	5	6	9	3	42	5%
	6	山中湖・根場	12	3	2	3	-	7	27	3%
	7	伊豆地区	5	0	-	1	4	1	11	1%
	8	その他(関東)	-	2	-	4	1		7	1%
		計	132	181	124	90	258	86	871	100%
信	9	白馬	58	-	20	3	-	2	83	29%

州・北陸	10	上高地	6	-	-	-	-	-	6	2%
	11	白樺湖	20	-	-	4	-	-	24	8%
	12	乗鞍	19	-	2	-	-	-	21	7%
	13	志賀、戸隠、黒姫	30	23	24	8	-	-	85	29%
	14	奥美濃、荘川	8	-	-	-	-	-	8	3%
	15	飛騨、高山	14	-	-	-	-	-	14	5%
	16	飯田	4	2	4	-	-	1	11	4%
	17	その他(信州)	20	4	8	6	-	1	39	13%
		計	179	29	58	21	0	4	291	100%
九州	18	福岡	16	7	3	3	3	13	45	9%
	19	北九州	13	6	2	1	-	7	29	6%
	20	長崎市内	104	73	17	25	10	40	269	53%
	21	佐世保	13	26	-	7	1	1	48	9%
	22	雲仙・島原	8	11	-	-	1	2	22	4%
	23	壱岐	12	-	-	1	-	3	16	3%
	24	佐賀県	5	10	2	2	-	1	20	4%
	25	阿蘇	9	14	-	3	1	6	33	6%
	26	宮崎	3	-	-	-	-	-	3	1%
	27	鹿児島	3	-	-	-	-	-	3	1%
	28	その他	7	5	-	-	-	10	22	4%
		計	193	152	24	42	16	83	510	100%
四国 中国	29	高知、愛媛(道後)	3	4	-	-	-	1	8	16%
	30	徳島・香川	2	-	-	-	-	2	4	8%
	31	広島(大久野など)	14	-	-	-	-	2	16	31%
	32	萩	3	-	-	-	-	-	3	6%
	33	山口(秋吉台など)	2	-	-	-	-	2	4	8%
	34	岡山(倉敷など)	4	-	-	-	-	-	4	8%
	35	大山	2	-	-	-	-	-	2	4%
	36	隠岐	8	-	-	2	-	-	10	20%
	計	38	4	0	2	0	7	51	100%	
沖縄	37	那覇市内	24	9	-	21	2	-	56	24%
	38	恩納村	12	8	-	13	1	-	34	14%
	39	名護市内	8	5	-	9	-	-	22	9%
	40	本部	22	4	-	6	-	-	32	14%
	41	佐敷町、伊計島	5	3	-	6	-	-	14	6%

	42	その他（沖縄・渡嘉敷等）	43	25	-	9	-	2	79	33%
		計	114	54	-	64	3	2	237	100%
北海道	43	札幌周辺	-	-	-	1	2	-	3	
	44	函館・湯の川	-	-	-	1	1	-	2	
	45	小樽市内	-	-	-	1	-	-	1	
	46	阿寒湖・摩周湖	-	-	-	-	2	-	2	
	47	網走	-	-	-	-	1	-	1	
			計	-	-	-	3	6	-	9
海外	48	シンガポール	-	-	-	-	4	-	4	
他	49		6	2	-	-	-	-	8	

・修学旅行における『体験学習』の取組み

1. 体験学習実施状況

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
実施あり	288	87%	135	65%	70	71%	80	76%	74	83%	36	26%	683	71%
実施なし	44	13%	73	35%	28	29%	25	24%	15	17%	100	74%	285	29%
計	332	100%	208	100%	98	100%	105	100%	89	100%	136	100%	968	100%

2. 学習形態単位（複数回答）

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
学年単位	113	26%	57	25%	18	18%	25	21%	20	17%	18	18%	251	23%
学級単位	105	24%	22	10%	10	10%	26	22%	14	12%	3	3%	180	16%
班別単位	181	42%	136	61%	64	63%	62	52%	64	55%	73	74%	580	53%
個人	28	6%	7	3%	7	7%	7	6%	14	12%	2	2%	65	6%
その他	7	2%	2	1%	2	2%	0	0%	4	3%	2	2%	17	2%
計	434	100%	224	100%	101	100%	120	100%	116	100%	98	100%	1,093	100%

3. 体験学習時間別内訳

- ・平成12年度との大きな変化は、体験学習の時間が大幅に増加したことであろう。
- ・1日班別自主活動を行い、そのなかで体験学習が実施されていることの証であろう。

所要時間	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
60分以内	18	6%	16	12%	1	1%	2	3%	2	3%	4	11%	43	6%
120分以内	35	12%	5	4%	2	3%	4	5%	0	0%	4	11%	50	7%
180分以内	27	9%	5	4%	2	3%	8	10%	3	4%	4	11%	49	7%
240分以内	28	10%	11	8%	6	9%	10	13%	1	1%	1	3%	57	8%
300分以内	34	12%	11	8%	8	11%	6	8%	12	16%	4	11%	75	11%
360分以内	31	11%	6	4%	5	7%	5	6%	6	8%	3	8%	56	8%
420分以内	17	6%	10	7%	10	14%	8	10%	7	9%	6	17%	58	8%
480分以内	29	10%	27	20%	5	7%	9	11%	9	12%	4	11%	83	12%
481分以上	69	24%	44	33%	31	44%	28	35%	34	46%	6	17%	212	31%
計	288	100%	135	100%	70	100%	80	100%	74	100%	36	100%	683	100%

今後の修学旅行の考え方

1. 旅行先について

今後の修学旅行	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
旅行先を変える	166	52%	70	36%	22	24%	31	30%	32	38%	19	14%	340	36%
旅行先を変えない	155	48%	127	64%	70	76%	73	70%	53	62%	116	86%	594	64%
回答数 計	321	100%	197	100%	92	100%	104	100%	85	100%	135	100%	934	100%

1-2. 旅行先を変える

希望旅行先	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
北海道・韓国	2	1%	4	6%	0	0%	2	6%	0	0%	2	11%	10	3%
関東・富士	6	4%	7	10%	1	5%	2	6%	9	28%	2	11%	27	8%
信州・北陸	14	8%	2	3%	3	14%	0	0%	2	6%	0	0%	21	6%
中国・四国	6	4%	0	0%	2	9%	0	0%	0	0%	1	5%	9	3%
九州	9	5%	6	9%	0	0%	2	6%	4	13%	1	5%	22	6%
沖縄	58	35%	14	20%	3	14%	13	42%	5	16%	4	21%	97	29%
検討中	71	43%	37	53%	13	59%	12	39%	12	38%	9	47%	154	45%
合計	166	100%	70	100%	22	100%	31	100%	32	100%	19	100%	340	100%

2. 学校完全週五日制による土・日の充当について

- ・「土日を避ける」とした学校が、過半数を超え、「どちらかを避ける」と合わせると63%を占める。
- ・一方、「曜日に拘らない」とした学校が、30%を超えていることにも注目すべきであろう。

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
土日の扱い														
避ける	148	45%	122	59%	44	45%	69	65%	35	36%	95	69%	513	53%
どちらかを避ける	44	13%	9	4%	21	22%	2	2%	11	11%	12	9%	99	10%
曜日に拘らない	121	37%	71	34%	28	29%	28	26%	40	41%	29	21%	317	33%
その他	14	4%	4	2%	4	4%	7	7%	11	11%	1	1%	41	4%
回答数計	327	100%	206	100%	97	100%	106	100%	97	100%	137	100%	970	100%

3. 体験学習の組み入れについて

- ・体験学習を組み入れたいとした学校が、85%を占めており、今や、修学旅行では体験学習が極めて重要な位置を占めているといえる。

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
体験学習														
組み入れたい	305	94%	166	81%	89	94%	93	92%	80	91%	73	54%	806	85%
組み入れない	21	6%	38	19%	6	6%	8	8%	8	9%	62	46%	143	15%
回答数計	326	100%	204	100%	95	100%	101	100%	88	100%	135	100%	949	100%

4. 体験学習を組み入れたいとした学校（複数回答）

- ・「社会体験」を組み入れたいとした学校が、約半数である。
- ・上位3体験「社会体験」、「歴史文化体験」、「自然、スポーツ体験」で、全体の実に78%を占めている。
- ・今後は、社会体験学習についての会場設定の拡充が重要な課題となってくるであろう。

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
歴史文化体験	50	16%	34	20%	15	13%	21	21%	12	14%	9	12%	141	17%
社会体験	97	31%	82	48%	60	53%	47	46%	52	61%	43	58%	381	45%
環境保全・共生体験	23	7%	7	4%	15	13%	7	7%	10	12%	2	3%	64	7%
交流体験	12	4%	11	6%	6	5%	2	2%	1	1%	5	7%	37	4%
自然、スポーツ体験	61	20%	24	14%	17	15%	25	25%	10	12%	3	4%	140	16%
検討中	65	21%	13	8%	1	1%	-	-	-	-	12	16%	91	11%
回答数計	308	100%	171	100%	114	100%	102	100%	85	100%	74	100%	854	100%

5. 「総合的な学習の時間」との関連

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
総合的な学習 関連させた	167	51%	93	45%	52	54%	33	31%	44	50%	33	24%	422	44%
総合的な学習 関連させなかった	162	49%	115	55%	45	46%	72	69%	44	50%	103	76%	541	56%
回答数計	329	100%	208	100%	97	100%	105	100%	88	100%	136	100%	963	100%

6. 関連させることに関し、課題がありますか

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
課題あり	186	67%	121	71%	59	71%	55	60%	41	59%	74	65%	536	67%
課題ない	91	33%	50	29%	24	29%	36	40%	28	41%	39	35%	268	33%
回答数計	277	100%	171	100%	83	100%	91	100%	69	100%	113	100%	804	100%

7. どんな課題でしょうか（複数回答）

県名	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
イ	50	18%	41	21%	15	17%	20	23%	13	17%	26	22%	165	19%
ロ	56	20%	28	14%	18	20%	10	11%	12	16%	18	15%	142	17%
ハ	59	21%	50	26%	20	22%	23	26%	27	35%	36	30%	215	25%
ニ	76	27%	48	24%	19	21%	18	21%	14	18%	24	20%	199	23%
その他（ホ）	42	15%	29	15%	18	20%	16	18%	11	14%	15	13%	131	15%
回答数計	283	100%	196	100%	90	100%	87	100%	77	100%	119	100%	852	100%

凡例：

- イ、年間計画を立てにくい
- ロ、例えば、環境・福祉・国際理解などの内容が絞りにくい
- ハ、費やす時間が把握しにくい
- ニ、全員で行う場合と、グループや個人の学習になるので計画に入れにくい

8-1.「総合的な学習の時間」の活用状況（複数回答）

- ・各分野、比較的平均して活用されている。いくぶん、「福祉教育」分野に時間を多く持たれているようである。
- ・回答数から見ても、かなりたくさんの事例があり、各学校の「総合的な学習」への取り組み姿勢が伺える。
- ・学習項目（分野）については、次ページにて学習事例・計画集をとりあげた。

学習項目	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
国際理解教育	136	14%	55	11%	45	14%	26	11%	26	9%	25	7%	313	11%
情報教育	157	16%	91	17%	56	18%	29	12%	47	15%	58	16%	438	16%
環境教育	149	15%	94	18%	52	16%	29	12%	61	20%	66	18%	451	16%
福祉教育	188	19%	113	22%	70	22%	49	21%	67	22%	77	21%	564	21%
奉仕・ボランティア	179	18%	76	15%	47	15%	39	16%	52	17%	70	19%	463	17%
その他	182	18%	92	18%	46	15%	67	28%	52	17%	76	20%	515	19%
回答数計	991	100%	521	100%	316	100%	239	100%	305	100%	372	100%	2,744	100%

8-2.「総合的な学習の時間」の活用状況(学習事例・計画集) (複数回答)

学習	学習内容		
国際理解教育	地域の外国人の人との交流、聞き取り	ジャイカとの交流	会話能力の向上
	英語スピーチコンテスト	海外からの留学生(近隣大学)との交流	東南アジアを中心とした発表と料理体験
	海外からの帰国者による講演	外国人を講師に招き、グループで活動	ニュージーランドとの交流
	AETの活用、ALTの活用	異文化交流・異文化理解	朝鮮高級学校との交流
	国立民族学博物館との連携	他民族理解	数カ国の方を招き、ふれあい学活(集会)
	国際紛争、文化理解	世界の料理	夜間中学との交流会
	地域、関西、地球について調べ学習	修学旅行における現地交流(沖縄)	大使館訪問
	1年生 コリアタウンのフィールドワーク	2年生 ディスカバリーアジア	茶の湯体験
	衣、食、住について言語、習慣を知る	友好都市との交流、海外姉妹校交流	日タイ交流事業
	日韓交流について	韓国料理実習	帰国子女教育
人権学習における外国人理解(多文化理解)	民族楽器体験	「世界の人と共に生きる」国際社会における日本のあり方	
*1年生で「グローバルデー」と名づけて、種々な国の人達を学校へ招き交流する			
情報教育	基本操作	PC リテラシーを中心にインターネットの活用	現地中学校とのメール交換(沖縄)
	コンピュータ操作・パワーポイントスキル	情報スキル学習を週1時間導入	修学旅行の事前学習
	プレゼンテーションのためのPC活用	操作学習とIT社会のエチケット	ホームページづくり、ロボット製作
	PC操作と進路における高校調べ	インターネットでの調べ学習	デジタルカメラ操作
	PCによる情報収集、分析力をつける	まとめ、発表に利用	
環境教育	大気、水、ゴミ リサイクル等テーマを追求	地域学習、ウキウキ案内隊	1泊野外学習
	牛乳パック、アルミカン回収	ゴミ処理場見学(ゴミ回収、日常的な分別)	小学生、PTA、青少年育成会と連携
	校区清掃活動(通学路を含む)	古紙回収	カントリー作戦、親子草刈
	リサイクル学習	身近な問題から、グローバルな視野を	菊づくり、花壇づくり
	農作物の栽培、田植え体験	エネルギー学習	地球の温暖化
	エコスタディ、ビオトープづくり	タンポポ、ドングリ生育調査	近くのボトルペット再生会社見学
	公害問題学習	河川の調査、「川と生活」についての学習	環境授業、環境新聞作り

	ケナフ・コスモス栽培及び夏休み中の水やり	琵琶湖の水質・環境、水質調査	緑化運動
	ゴミ減量	校内の桶についての取組み	
福祉教育	福祉施設での体験、訪問	障害者（児）教育の体験（聞き取りと理解）	介護の意義を体験的に学ぶ
	保育所訪問	特別養護老人ホーム訪問	キャップハンディ体験
	職場体験	敬老会などの行事参加	バック運動
	デイケアセンター訪問、体験	独居老人への花鉢の配布	福祉施設訪問
	老人ホーム訪問、高齢者体験	ブラインドウォーク体験、講演	保険所と連携した健康教育
	老人ホームにおける介護体験	点字本作り、朗読テープ作成	授産所・作業所訪問
	バリアフリー	車椅子・アイマスク疑似体験、手話	
	*2年生で「リサーチ高槻」と名づけて、市内の養護学校や福祉施設等を訪問し、交流・学習する。		
奉仕ボランティア	ボランティア施設での体験	わか町クリーン活動	
	地域活動・行事への参加	アドプトロード	
	給食ボランティア体験	「町ピカ大作戦」	
	幼稚園、保育園における保育体験	町かど学級園、よさこいソーラン出演、募金	
	ユニセフの募金活動		
	公園清掃		
その他	進路研究、高校見学	学校間交流	農業体験（稲作など）
	異年齢交流	人権学習（平和学習）	保護者とミニ門松づくり
	養護学校との交流（夏祭り、文化祭）	テレビ会議の開催	人権：部落問題学習等
	共生教育（上記の1～5の全てに関わる複合的な学習）	職業体験学習（チャレンジワーク）	僻地学校間交流
	地域マップ作り	小1～2年生の水泳指導	狭山学習（郷土を知ろう）をテーマとして
	職業インタビュー	性教育	NIE（教育に新聞を）活動
	演劇活動	救急救命講習	俳句指導
	伝統文化	トライやる・ウィーク	エイズ教育
	*3年生で「卒業研究」と名づけて、校区内の商店等での体験学習をする。		
	「Abuno twelve Step Study」として、12のステップを3年間でつくっている。（その中で、国際理解、情報、福祉の教育に取り組んでいる）		
	文科省の「教育総合推進地区事業」の指定を受け、校区の小学校とも連携して、上記の1～5などに総合的に取り組む予定校あり。		